

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ しおのいしうす

年齢 ・ ようじ (3~5さい)

主題 ・ もくひょう：いきすぎたよくをだすと、そんをすることをりかいする。
・ しゅだい：よく

キーワード ・ しお、のうふ、かねもち、いじわるなひと、いしうす、よく、かいすい、ゆらいのおはなし

韓国文化 ・ もくひょう：いしうすのようすとつかいかたについて、きょうみをもつ。
・ ようそ：いしうす

韓国語

- ・ もくひょう：おはなしをたのしくきいて、ことばのたのしさをかんじる。
- ・ たんご：맷돌 (いしうす)、소금 (しお)、쌀 (こめ)、획획 (くるりくるり)、술술 (すらすら)、빙글빙글 (くるくる)
- ・ ひょうげん：
맷돌을 획획 돌렸어요.
(いしうすをくるりくるりとまわしました。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
"しおのいしうす"です。
みなさん、ひろく、ひろいうみをみたことがありますか？そのひろいうみのかい
すいがどんなあじか、していますか？そうですね。かいしいはしおからいあじ
ですね。ところが、このかいしいがしおからいあじがするようになったのは、り
ゆうがあるんです。びんぼうなのうふとよくばりのかねもちのおはなしをきき
ながら、なぜ、かいしいがしおからいあじになったのかをしらべます。おはなし
をいちど、きいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

"しおのいしうす"のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしあるむらに、びんぼうなのうふがすんでいました。さむいふゆになったのに、のうふのいえにはこめがひとつもありませんでした。

“ああ、おなかがすいた。これではうえて、しんでしまいそうだ。”

のうふはいじわるでゆうめいな、きんじょのかねもちにたべるものをかりにいきました。

“らいねんにかならずかえすから、たべるものをちょっとわけてほしい。”

“ふん! ペこペこにうえていたら、らいねんにどんなほうほうでかえすというのか? すぐにでていけ!”

のうふはあちこちのいえにいて、やっとあわをいっぱい、かりてきました。いえにかえたかえるところだったのうふは、かねもちのいえのへいのしたで、あるおじいさんがおもたいいしうすをせおったまま、たおれているのがみえました。

“おじいさん、しっかりしてください。”

のうふはたおれたおじいさんをいえにつれてかえりました。そして、やっとえたあわでおかゆをつくり、おじいさんにあたえました。

おじいさんはのうふのおかげで、すぐにげんきをとりもどしました。

“ありがとう。わたしはどうしてもおんがえしをしたいのだが、、、このいしうすをあげるから、ことわらないでうけとってくれ。”

おじいさんはいしうすをあたえて、さりました。

“ふう、いしうすがあってもどうするんだ。そのなかにいれてひく、こくもつもないのに、、、。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

のうふはためいきをついて、からっぽのいしうすをまわしました。

“ふう、いしうすからこめがするするとでてきたらいいなあ。こめよ、するするとでてこい。”

しかし、ほんとうにふしぎなことに、からっぽのいしうすからこめがするするとでてきました。のうふがとてもおどろいて、いしうすをとめると、こめがでてこなくなりました。のうふはもしかしてと、いしうすをまた、まわしました。

“こめよ、するするとでてこい。”

のうふはとてもよろこんで、こめをむらのひとびとにまんべんなくわけてあげました。むらのひとびとはのうふのおかげで、おなかいっぱい食べることができました。

このうわさをきいたきんじょのかねもちは、いじわるになってがまんできませんでした。

“いや、わたしのいえのへいのしたで、たおれていたひとがくれたいしうすなら、もちろんわたしのものではないのか？”

そのよる、いじわるなかねもちは、のうふのいえにこっそりはいっていききました。

“いしうすをどこにかくしたんだ？”

かねもちのはのうふがおきるかとおもい、こそこそあちこちをしらべました。

“あっ、いしうすがそこにあるな！ヒヒヒヒ”

かねもちはいしうすをもって、すぐさまいえにかえりました。

“おっとっと、いえにいしうすをおいていたら、のうふがかえしてくれというだろう。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

じっとかんがえたかねもちは、いえをでてふねにのり、うみをわたろうとしました。

“おいしょ、おいしょ。このいしうすはわたしのものだ！おいしょ、おいしょ！”

しばらくろをこいで、うみをこえたかねもちは、きゅうにいしうすがなぜまわるのか、ふしぎになりました。

“ちょっとまって、いしうすがちゃんとまわるのか、みていないじゃないか。なにをほしいといえ、よいだろう？ そうだ、あれがいいな。”

かねもちはこいでいたろをとめて、いしうすをまわしながらいいました。

“しお、しお。するするとでてこい。”

かねもちがいしうすをくるりくるりとまわしたら、しろいしおがするするとでてきました。

“ヒヒヒヒ！ほんとうにでてくる！しお、もっとするするでてこい！”

かねもちはとてもうれしくて、いしうすをよりはやくまわしました。

しかし、いしうすにしおがきゅうにあふれて、ふねがおもくなり、すこしずつしずみました。かねもちはそれもしらずに、ずっといしうすをまわしました。

“このしおをすべてうれば、わたしはせかいでいちばんのかねもちになるんだ！”

しおがいっぱいになったふねは、間もなくうみのなかにしずんでしまいました。

ふねといっしょにしずんだかねもちは、どうなっているでしょう？ 今も、よくをだしていしうすをまわしているかもしれません。いしうすからしおがずっとでているせいなのか、うみのみずはいまのようにしおからなくなったんですね。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

やさしいことをしたのうふが、うけとったプレゼントはなんでしたか？はい、そうですね。いしうすです。きんじょのいじわるなおかねもちはいしうすをくるりくるりと（フィッフイッ）まわしました。ここで‘フィッフイッ’（くるりくるり）ははやくまわるようすです。みなさんもまわりに‘くるりくるり’とまわるほかのものがあるか、いちどさがしてみてください！

いしうすがどのようなものか、くわしくみてみましょうか？

いしうすはまるく、ひらたいふたつのいしをかさねてつくります。うえにあるいしには、ながいとってとこくもつをいれるあながあります。あなにこくもつをいれて、とってをつかみ、ぐるぐるまわすところになりてできます。むかしのひとびとは、いしうすでこめをひいておもちをつくってたべました。また、まめをひいてとうふもつくりましたね。

いしうすにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、もうおしまいのかんです。"しおのいしうす"のおはなしはたのしかったですか？

びんぼうですが、やさしいのうふがたおれたおじいさんをたすけると、おじいさんがふしぎないしうすをくれました。のうふはいしうすからでてきたおこめを、ひとびととわけてたべましたが、よくばりのかねもちは、しおといっしょにしずんでしまいました。よくばりすぎてはいけないということを、みなさんもよくわかりましたね？ともだちといるときもよくばりすぎずに、じぶんのものをわけてあげれば、みなさんにもいいことがおこるかもしれませんね。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！